



ヤマハ楽器用語集(369 語収録)について

※YAMAHAが運営するサイトにマニュアルライブラリーというのがある。「電子楽器用語集」は
その中に含まれている(<http://www.yamaha.co.jp/manual/japan/glossary.php>)。キーワード検索
ができるようになっている。なんと、英語、デンマーク語、オランダ語、フランス語、ドイツ語、イタリ
ア語、ポーランド語、ポルトガル語、ロシア語、スペイン語、スウェーデン語、中国語、韓国語と日本
語の以上15か国の国語に対応しているような表示になっているが、Japanese 以外はクリックして
も無反応だ。【図1】は用語集の最初の画面である。キーワードから検索するか、頭文字検索にす
るかである。登録用語数に関しては、Web 上には735語の見出し語が記載されているが、同義
語を1語の標準表記と異表記として扱った関係上、**SuperHT³**辞書としては、369語(標準表記
ベース)になった。一方、日本語と英語に多数の異表記を追加した結果、用語数は、日本語1,1
78語、英語1,289語になっている。



【図1】

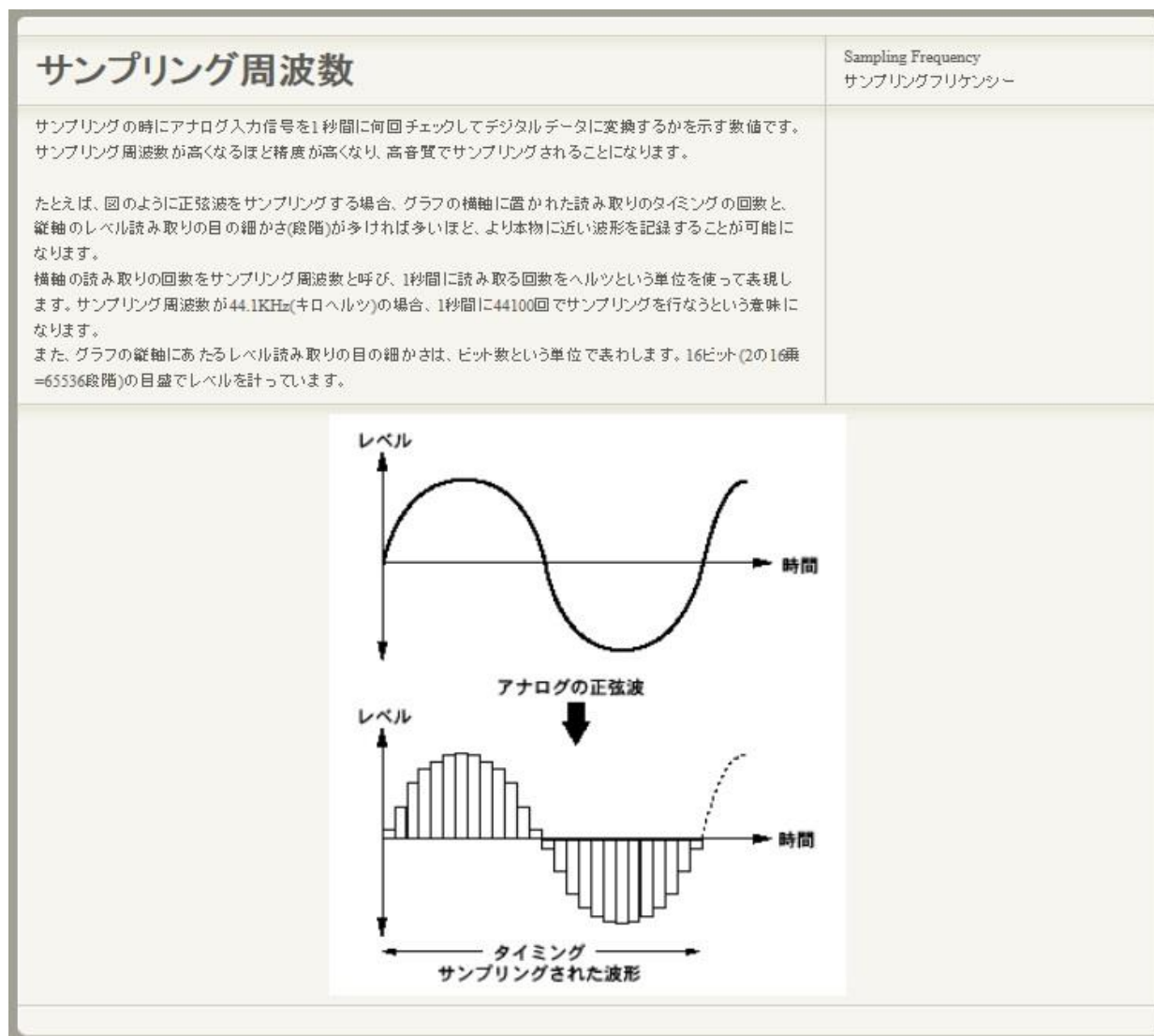
【図2】はア行の最初の見出し語を検索したときの画面表示である。原則として、各表示は、見出
し語、解説文、英語訳、関連用語からなっているが、英語訳のないものも散見された。何度にも
分けて制作されたのか、まとめ方にばらつきが感じられる。**SuperHT³**用辞書として、これらを一
つひとつエクセル辞書の該当セルにコピーし、英訳のないものは、適当な訳語を決め、エクセル
辞書のE列(英語標準表記1)に、**朱書き**で記載した。異表記もかなり展開した。日本語では、3単

語以上からなる長いカタカナ語の語の切れ目に中点(・)を挿入した文字列を追加したり、例えば、「パラメーター」という語に対して語尾の長音符を取って「パラメータ」としたものを、エクセル辞書のD列(日本語異表記)に追記したりした。英語でも、3語以上の用語についてハイフンで語を連結したりしたものをI列(英語異表記)に適宜善意の登録をした。いずれの場合も、元の用語集にない語については、<hide>XXXX</hide>¥¥のように表示としたので、秘書引き画面では、これらは表示されない。

アーリーリフレクション	Early Reflection
リバーブエフェクトの初期反射音を指します。詳細は、「リバーブ」をご参照ください。	関連用語
リバーブの初期反射音だけを取り出したエフェクトタイプを指す場合もあります。	<u>リバーブ</u>

【図2】

説明文には挿絵のある用語もある。全部で68個のイラストや表が図として使用されている。その例を【図3】に示す。図は GIF 形式のまま取り込み、エクセル上では当該用語の備考欄に「0003.gif」のように登録してた。



【図3】

これら68個の画像ファイルは **Img** フォルダに収納してあるので、画像ファイルにこの **IMG** フォルダを指定しておけば、辞書引きのときに画像も表示できるようになる。

【図4】には、上記 Web 上の見出し語と説明文、画像が **SuperHT³** 辞書として取り込まれ、表示された様子である。

[前ページ](#)

(ヤマハ楽器用語639)

[次ページ](#)

サンプリング周波数 [サンプリング周波数] : sampling frequency

日本語同義語: サンプリング周波数

英語同義語:

規格票番号-用語番号: ヤマハ電子楽器用語139

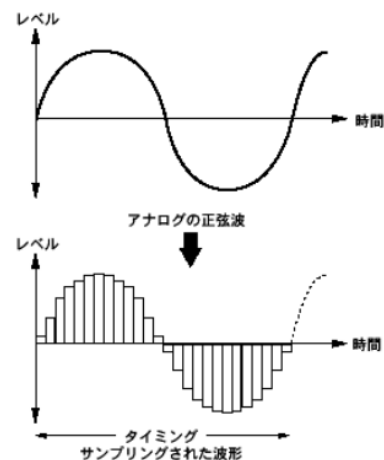
[Sampling Frequency] サンプリング周波数

サンプリングの時にアナログ入力信号を1秒間に何回チェックしてデジタルデータに変換するかを示す数値です。サンプリング周波数が高くなるほど精度が高くなり、高音質でサンプリングされることになります。たとえば、図のように正弦波をサンプリングする場合、グラフの横軸に置かれた読み取りのタイミングの回数と、縦軸のレベル読み取りの目の細かさ(段階)が多ければ多いほど、より本物に近い波形を記録することが可能になります。

横軸の読み取りの回数をサンプリング周波数と呼び、1秒間に読み取る回数をヘルツという単位を使って表現します。サンプリング周波数が44.1KHz(キロヘルツ)の場合、1秒間に44100回でサンプリングを行なうという意味になります。また、グラフの縦軸にあたるレベル読み取りの目の細かさは、ビット数という単位で表わします。16ビット(2の16乗=65536段階)の目盛でレベルを計っています。

関連用語: なし

0126 ○縮小 ●等倍 ○拡大



【図4】

辞書作成中に気が付いた元の用語集の不具合と思われるもののいくつかを、下記しておく。

(1) 英語スペルミス: インCREMENT increment ⇒ increment

ドラムピッチコース ---- coarse ⇒ course (?)

(2) キーボードトランスミッションチャンネルの英訳の最後の閉じ括弧は不要。

(3) 次のものに英訳なし。

エディットマーク、シングル音源、同期(synchronize ?)、パンチイン/アウト(punch-in/out ?)、ピッチEGディケイ1レート(pitch EG Decay 1 rate ?)、ピッチEGディケイ2タイム(pitch EG Decay 2 time ?)、フロッピーディスク(floppy disk)、プラグインプラットフォーム、ヘルツ(Hz)、ポリフォニック数、マルチエフェクトパラメーターチェンジ、ループクロスフェード、ループ長、A/Dパート、GMシステムレベル1、GMシステムレベル2、MIDI IN端子、MIDI OUT端子、MIDI THRU(スルー)端子、MIDI ケーブル、MIDI I端子、SCSI端子、など

(4) リバーブの関連語がリバーブになっている(矛盾)

(5) ローフリクエンシーオシレーターの英訳がLFOとなっていて、関連語もLFOになっている(矛盾)

(6) 数字を含む英訳語で、数字の直前にスペースがないものが散見される【例】EG delay1 rate ⇒ pitch EG delay 1 rate

このフォルダには次の4つのファイルと、1つのフォルダがある。

1. 本「ReadMe.pdf」(419KB) (このファイル)
2. ヤマハ電子楽器用語 639.XLS(684KB)

3. ヤマハ電子楽器用語 639.HT3 (2,832KB)
4. Img フォルダ (中に68個の画像[GIFファイル]が入っている) (318KB)
5. ヤマハ電子楽器用語用語集 HT3 辞書作成記録.JPEG (1,677KB)

以上

2015/3/3 **アトリエ・ワン** 貝島

